

## 年頭のご挨拶



日立労働基準監督署長

細谷 克

新年明けましておめでとございませう。

日立労働基準協会会員の皆様方には、日頃より労働基準行政に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、労働災害は、茨城県全体としては減少傾向にあります。当管内においては増加しており、死亡災害については、一昨年は全産業において二名となっておりますが、昨年は全産業で三名の方の命が失われており、残念な結果となっております。

今年こそ、労働災害の大幅な減少、特に死亡災害は0を念頭に、諸々の対策を講じていきたいと考えておりますので、昨年に増しましてご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

小生、平成七年四月署長職を拝命して以来、約十三年、この職に在任し現在に至り、その間、いろいろな体験・経験をさせて頂いております。多くの人との出会いもあり、楽しい思い出も沢山ありますが、やはり、仕事中に人の命が失われるという死亡災害のことは、記憶から離れることはありません。

そういう案件に対処する度に、これだけは絶対にあつてはならないことであると、痛感させられます。万が一にも、このような寂しい思いを誰もが体験することの無いよう、当署職員も、一丸となつて頑張っておりますので、皆様におかれましては、今年も安全に最大のご配慮を頂きますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

新年早々から、礼を欠くような挨拶となりましたが、これからも会員事業場の皆様方の労働基準行政に対するご支援・ご協力の程、宜しくお願い致しますとともに、皆様方のなご一層のご発展をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

日立労働基準監督署

職員一同

## 腰痛発症のメカニズムと対処方法を学ぶ

平成19年度 全国労働衛生週間説明会を開催

9月5日(水)、日立労働組合会館において、各企業の安全衛生管理責任者及び担当者220名が参加され、平成19年度全国労働衛生週間説明会が、日立労働基準監督署のご後援により、盛大に開催されました。

初めに堀越副会長並びに細谷署長から挨拶があり、続いて全国労働衛生週間の実施要綱について、日立労働基準監督署第三方面の吉成安全専門官より説明がありました。

次に事例発表が行われ、平成18年度内閣総理大臣賞国民安全功労表彰を受賞された、日立原町電子工業㈱取締役経営サポート部長の遠藤富衛氏より「休業無災害32年の歩み」と題し発表がありました。永年継続している休業無災害は、経営トップの安全衛生管理に対する熱意が従業員の意識高揚に結びつき、全員一丸となり無災害職場の実現に取り組んだ成果であると、各種管理手法をはじめ、従業員からの提案制度等の紹介があり、参加者は熱心にメモをとりながら耳を傾けておりました。



最後に特別講演として、「職業性疾病の予防について」と題し整形外科の第一人者である小松整形外科医院院長の中島宏氏より、ご講演をいただきました。

職業性疾病の中でも特に腰痛に焦点を当てられ、腰痛発症のメカニズムを脊椎と神経の関連など、パワーポイントにて詳しく紹介され、その対処方法や予防方法について、判り易く説明いただきました。

腰痛は職業性疾病の中でも発生比率も高く、参加者は最後まで熱心に聴講されており、たいへん有意義なご講演でありました。

特別講演 中島 宏氏